

# 工学系ものづくりグループの技術職員による地域貢献活動

○金丸 慎太郎, 田口 倫那, 田之上 二郎, 友尻 優太郎, 中島 海翔,  
中山 卓, 濱畑 貴之, 山元 三保子, 真木 大介, 矢野 康之  
宮崎大学総合技術センター 工学系ものづくりグループ

## 1. はじめに

筆者らは令和7年5月に発足した技術職員の全学組織・総合技術センターにて、工学系ものづくりグループ（以下、ものづくり Gr.）として教育研究活動に取り組んでいる。本発表では、ものづくりの楽しさを広め、科学への興味・関心を持ってもらうための一般向け（主に子供向け）イベントを通じた地域貢献活動について報告する。

## 2. 地域貢献活動の概要

令和7年度に実施した地域貢献活動の概要を表1に示す。

表1 地域貢献活動の概要

開催日	イベント	会場	実施テーマ
2025/11/16 (日)	アドベンチャー工学部	宮崎大学木花キャンパス 工学部	つかめる水を作ろう！
2025/12/7 (日)	サイテック祭 2025	熊本県多良木町体育館	地をはう紙飛行機を作ろう！
2025/12/13 (土)	フィールド開放事業 「牧場開放」	宮崎大学 住吉フィールド (牧場)	レーザー加工体験

## 3. 活動報告

### 3.1. アドベンチャー工学部

「つかめる水を作ろう！」と題して、食品添加物であるアルギン酸ナトリウムと乳酸カルシウムを反応させたアルギン酸カルシウム膜内に水を内包した「つかめる水」作りを実施した（図1, 2）。来場者には絵具で着色したアルギン酸ナトリウム水溶液をレンゲに適量入れ、乳酸カルシウム水溶液の入ったボウルに流し込むことで球状（2~5 cm 程度）のつかめる水作りを体験してもらった。また、1 cm 程度のパーツアクセサリを内包したり、自分の好みのつかめる水を製作してもらい、容器に入れて持ち帰ってもらった。来場者は延べ100名を超え、多くの方に化学系のものづくり体験を楽しんでいただけた。



図1 「つかめる水」完成品



図2 製作の様子

### 3.2. サイテック祭 2025

「地をはう紙飛行機をつくろう!」と題して、熊本県多良木町で開催された「サイテック祭 2025」に工作と実験を出展した(図3,4)。当日は200名を超える子供たちが参加し、工作では事前にレーザーカットした厚紙を折り曲げ空力翼艇を製作し、実験では尾翼や重りを調整して床を滑空する距離を競ってもらった。本出展を通して、飛行機が空を飛ぶ原理を楽しく学んでもらうことができた。



図3 製作の様子



図4 滑空競争の様子

### 3.3. フィールド開放事業「牧場開放」

農学部住吉フィールド(牧場)で開催された「牧場開放」に農学部田野フィールド(演習林)の木材を使った木材加工品へのレーザー刻印体験を実施した(図5,6)。事前に演習林の木材を加工して様々なデザインの木材加工品(ルームプレート、まな板、コースター、鍋敷き等)を製作し、来場者には当日購入していただいた木材加工品にレーザー加工機を用いて名前等の刻印をしたり、小さい木工パーツを接着したりして好みの木材加工品作りを体験していただいた。子供から大人まで幅広い年代層の方々に体験していただき、ものづくりの楽しさを体感してもらうことができた。



図5 木材加工品



図6 レーザー刻印体験の様子

## 4. まとめ

今年度は県内外3件の地域イベントに出展した。参加者には科学に興味を持ったり、ものづくりの楽しさを体感してもらったのではないかと考える。今後も地域の活性化に貢献するため、ものづくり Gr.として積極的に地域イベントへ参加していく予定である。